

本日の例会（第2255回）

平成28年7月26日(火)

予 定 行 事



★皆出席表彰

藤井 宏一 会員（46年） 藤井 進次 会員（24年） 妙中 茂樹 会員（10年）
菅原 正明 会員（5年） 西ノ内猛宏 会員（2年）

★卓 話 テーマ「方針発表」

卓話者：クラブ奉仕委員会 尾下 千明 会員
ロータリー財団委員会 田中 潤治 会員
米山奨学会委員会 小山 登 会員

職業奉仕委員会活動計画

委員長 阿江 秀典



職業奉仕とは、ロータリアンがその職業生活の中で、“奉仕の理想”即ち（人のことを思いやり、人のために役立つとする気持ち）を生かしていくことです。

過去のRI理事会が採択した「職業奉仕に関する声明」は職業奉仕の理想に本来含まれている事項に、つぎのように謳っております。

- 1) あらゆる職業において、最も高度な道德水準を守り、推進すること。
雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、またこの人たちの同業者、一般の人々、職業上の知己全ての公正な取り扱いも含まれる。
- 2) 自分の職業、ロータリアンの職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。
- 3) 自己の職業上の手腕を、社会の問題やニーズに役立たせること。

活動内容

- 1) 職場見学会を実施し、ロータリアンの家族同伴にて参加体験ができる職場見学会を行い、職業奉仕の意識高揚をはかるとともに、参加者全員で歓談を持ち親睦を深める。
- 2) 委員会を2回実施する。

次回例会のお知らせ [第2256回・平成28年8月2日(火)]

★お誕生日のお祝い

★卓話予定

- ・テーマ：「英国のEU離脱とこれからのヨーロッパ」
- ・卓話者：中谷 一虎氏（吉田 育弘 会員 紹介）

★8月16日(火)の例会は休会です。

★お食事はミニ会席です。

★例会場 4F 真珠の間

前回例会（第2254回・7月12日（火））の報告

- ・来客紹介 1名
（2660地区内 1名・地区外 0名・ゲスト 0名）
- ・出席報告

	6月21日	6月28日	7月5日	7月12日
会員総数	47名	47名	47名	47名
出席免除会員数	14名	14名	14名	14名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	13名 (4名)	14名 (7名)	14名 (6名)	18名 (9名)
出席率	79.70%	82.50%	80.49%	76.32%
修正出席率 (メーキャップ数)	93.02% (6名)	87.50% (2名)	_____	_____

・ラッキーくじ

賞品名 『小倉山荘のおかき
（大当たり 小倉山荘 汗をかき）』

賞品提供者 瀬田川昭俊 会員
当選者 田中 潤治 会員
田中 和雅 会員

参加者数 15名

・卓話

テーマ「四大奉仕委員長方針発表」
職業奉仕委員会 阿江 秀典 委員長
社会奉仕委員会 最上 次郎 委員長
青少年奉仕委員会 柴崎 秀樹 委員長
国際奉仕委員会 近藤 治郎 委員長

・その他

10/19（水）大輪ゴルフ会の案内
最低2組参加依頼

会員名 ニコニコ事由

- 先週欠席会員 = 新年度を迎えて。
富島 俊治 = ラッキーカード当選
古市 仁 = ラッキーカード当選
" = ラッキーを買い始めましたら、早々に当たりました。サマージャンボも買いましたよかな。
勝亦 良彰 = 暑いです！
高士 誠司 = ムシ暑いですネ！
十河 元生 = 暑さに負けませんように。
菅原 正明 = 本日、早退です。申し訳ありません。
隅防 武司 = 本日、早退します。すみません。
妙中 茂樹 = SAAに声をかけられて。
弓田 浩司 = SAAに声をかけられて。

RIテーマ

人類に奉仕するロータリー



2016-17年度国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム

(前回のつづき)

ポリオ撲滅から私たちが学んだ多くのことの中で、最も大切ながら最もシンプルなこと、それは、ロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならないということです。クラブ、地区、RIのレベルにおけるリーダーシップの継続は、ロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。

ポール・ハリスは晩年、ロータリー設立の経緯について振り返り、次のようにつづっています。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」。いつの日か120万人以上のロータリアンが一体となり、ロータリー財団や各自のリソースを駆使して人類への奉仕に取り組むことになるとは、ハリスも想像しなかったでしょう。そのようなロータリーに対してハリスがどんな奉仕を期待するのか、私たちは想像するしかありません。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を授けられた私たちには、このような奉仕を行っていく責務があるのです。